

# 令和5年度学校評価

令和5年度の教育活動等に対する学校評価書

令和6年3月31日

学校法人 松城幼稚園

園長 大高 今日子  
父母の会総務 坪井 正子

## 1. 教育内容

- ・キリスト教理念に基づいた保育がなされ、礼拝や日々のお祈り、何事にも感謝する心が自然と子どもたちの中に育ってきていると感じる。

## 2. 保育の計画性、幼児への対応

- ・季節の行事の充実ぶりに共感する保護者が多い一方で、今の子どもたちの年齢に寄り添った考え方向に向いていっていただく事も考えてほしい。
- ・ドッジボールでは体力づくりだけではなく、みんなで協力しチームがひとつになることへの感動を味わうことができた。

## 3. 教師としての資質・能力・適正等

- ・子どもの小さな変化や成長に気づき保護者に伝えている。  
教師と保護者の両方で子どもたちの成長を喜び育てようとする意識を感じる。
- ・教師は子ども達の個性を尊重し、自尊心を育てるような保育を実施している。

## 4. 保護者への対応

- ・仕事を持つ保護者が増えてきているため、出度が必要な行事の日程や目安となる時間帯などを早めに知らせていただくと助かる。
- ・園との距離が近く、いろいろな保護者の意見を耳にする中で適切な判断をしていただきたい。
- ・園長・教師へ気軽に相談でき、保護者へ寄り添う形で共に子どもたちの成長を共感し合える場がある。

## 5. 地域の幼児教育センターとしての役割

- ・他園とのドッチボール大会、中高生の保育体験の受け入れなど交流の場を設けている。
- ・浜松城公園・中央図書館・消防署などの公共施設などが多くあるため、それらを訪ね、利用させていただくことで子どもたちは様々な体験をさせていただけた。
- ・未就園児の会（まつぼっくりの会）は毎回工夫を凝らし、小さな子どもたちが楽しめる内容になっているほか、親子で安心して遊べる場所になっている。

## 6. 環境安全管理

- ・災害時の非常食や水等の備蓄の点検をし、災害への備えをしている。
- ・月に一度、地震・不審者などの災害への訓練をお話や行動で子どもたちと訓練を行っている。

## 7. 預かり保育・給食・補助活動

- ・預かり保育は仕事をしている人に限らず、臨機応変に対応されている。
- ・給食は保護者が手伝うことでマイナスイメージになりやすいが、温かい給食が食べられる事など手作りの良さをもっと発信できたらと思う。  
少し保護者の入る回数を減らした事で保護者の負担も軽減した。
- ・課外教室の利用者も多充実している。  
その一方で体操教室の際、他園の方の送迎車による、園ルールの一方通行が守られないことで送迎が不便になることがある。

## 8. 外部アンケート

- ・園長自ら現場に立ち、よく理解し他教師との情報共有している。  
保護者の意見を聞き取り、すぐに実践し取り入れる姿勢が見られる。
- ・穏やかな環境の中でのびのびと保育ができる園風は、変わらず残して行ってほしい。
- ・日々の保育や行事について常に『子どもたちのため』という配慮を感じることができ、ありがとうございます。
- ・時代に合わせ、変化が必要な部分もあると思う。
- ・温かい園の空気感は変わらず、そのままであって欲しいと願っています。